

詰将棋問題

1問正解ごとに
1点とします

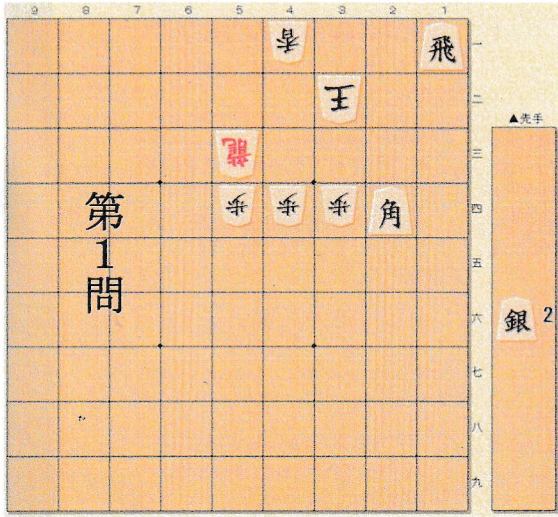
様

シニア松塚将棋クラブ NO286

令和6年4月11日 (木) 1時30分~4時30分

例会は原則木曜日 次は4月18日

- 交野の桜が満開から一気に散り始めました。交野に住んでいますと郡津の京阪沿線を初め免除川沿いなど、市内のあちこちに桜が咲き乱れます。この時期は交野に住んで良かったと思います
- NO285 詰将棋問題は7名の方から解答が寄せられ、野末さん、設楽二冠、玉置さん、上野さん、青田さん、佐々さん、中さんの皆さん2問とも正解でした



NO285 詰将棋解答 (9手詰め)

- 第1問 ▲2四香 △1三五 ▲2二角 △同角 ▲2三香成 △同玉
▲3四と △1三五 ▲2四と 又は、▲2四銀
- 第2問 ▲2三金 △1一玉 ▲1二金 △同玉 ▲3四角 △1一玉
▲1二歩 △2二玉 ▲2三と 又は、▲2三角

詰将棋解答状況

玉置	二段	39	上野	三段	0	津田		
青田	三段	1	設楽	二冠・三段	13	生野		
野末	二段	28	佐々	初段	29	蒼天		
中	三段	4	狩野	初段	*3			

藤井聡太八冠や現役最年少棋士、藤本渚五段が歴代記録まであと一歩。史上最高レベルの勝率1位争いとなった2023年度

2023年度の藤井の勝率は0.8519(46勝8敗)となった。先述した中原の記録には惜しくも届かなかったが、歴代2位だった2011年度の中村太地五段(当時)の0.8511(40勝7敗)を抜いて2番目の記録となった。最高のステージでこの記録を出したのだから、来年度以降も記録更新の可能性は十分にあるだろう。なお、全冠制覇を成し遂げた1995年度の羽生善治七冠(当時)の勝率は0.8364(46勝9敗)。こちら素晴らしい記録だったが、藤井は八冠かつ勝率も上回った。今期で歴代トップ10のうち、藤井の記録が5年分入り半分を占めることになった。

もう一人は現役最年少棋士の藤本渚五段。四段になったのは2022年の10月のため、2023年度が実質的な初年度となった。勝率は0.8500(51勝9敗)。痛かったのは新人王戦の決勝三番勝負第3局で、勝ちに近付いた局面からの大逆転負けだった。藤本の2023年度の記録は①中原誠②藤井聡太③中村太地に次ぐ歴代4位の記録。年度の勝率としては藤井がわずかに上をいき、2023年度の勝率1位賞は藤井となった。戦うステージが上がっていく2024年度以降はより勝つのが大変になっていく。この成績で勝率1位賞を取れなかったのは不運というほかない。次はタイトル挑戦に期待したいところだ。

